令和7年9月20日 開催

つくオフ・ミーティン

テーマ みんなで考えよう!震災後のすぎなみ未来図 ~事前復興まちづくりに関する方針策定に向けて~

区では、区政への区民参加の仕組みづくりを進めています。その取組の一つとして、身近な行政課題について、 区長と区民が直接意見を交換する「聴っくオフ・ミーティング」を開催しています。今回は、「みんなで考えよう! 震災後のすぎなみ未来図~事前復興まちづくりに関する方針策定に向けて~」をテーマに、一般公募と無作為抽出 した 2000 名の区民の中から参加していただいた 18 名の方と話し合いました。

事前復興は、被災前よりも、より元気なまちにするために、みんなで準備して 計画を立てておこうということです。杉並区は事前復興のまちづくりの方針をこ れからつくっていこうという段階にあります。そこで、事前に区民の皆さんの考 えを聴かせていただき、それを貴重な材料として、これからの方針策定に生かし ていきたいと思います。仮に、私たち杉並区民にとって大切なものが、残念なが ら失われてしまったときに、それをどのように回復させ、そして私たちは新たに 何をつくっていきたいのか。皆さんにとって何が大切だと思うのかも含めて、お 話をお聴きしたいです。本日は少し硬いテーマではありますが、各テーブルには



ファシリテーター役の職員も入り、皆さんがリラックスして話せるように準備していますので、ご自身の考え を遠慮なくお聞かせください。







1. 復興とは「被災する前の状態よりも、良い状態にすること」

復興とは被災前の状態に戻す「復旧」とは異なり、被災によるマイナスをゼロに 戻すだけではなく、例えば安全性や快適さといった価値を付加し、より良いまちを 築くことを意味します。

阪神・淡路大震災や熊本地震で大きく傷ついたまちは、地元の人たちの努力と 様々な復興事業により元気を取り戻しました。中には調整が難航し、復興に長い時 間を要した場所もあります。

2. 事前復興まちづくりとは"災害が発生する前"に復興に必要な事項を検討しておくこと

区でも耐震・不燃化の取組は着実に進んでいますが、首都直下地震による被害想定では、区内 24.251 棟(全) 体の 18.6%) もの家屋に半壊以上の被害が見込まれるなど、依然として一定の被害が想定されています。また、 被災直後は、被災者の方々が日々の生活に追われ、精神面や日々の生活での余裕を失い、復興に取り掛かること が困難になることが想定されます。

そこで、被災する前からまちの復興に必要となる検討を区民の皆さんと区で進めておくことで、迅速な都市復 興を可能にします。これが「事前復興まちづくり」です。

3. まちの復興についてみんなで考えよう

区は令和7・8年度に、被災時に復興を行う上で特に重要となる「都市復興の理念・目標」を区民の皆さんと 共に考え、その内容を「(仮称)事前復興まちづくり方針」としてまとめ、区民の皆さんと共有していく予定で す。そして、この方針の策定にあたっては、区民の皆さんと区が復興後のまちの将来像・ビジョンを共有するこ とがとても大切です。

本日は、皆さんと一緒に方針の内容を検討していく第一歩にしたいと思います。杉並のまちが震災で傷ついて しまったとき、どのようなまちに生まれ変わらせたいかを一緒に考え、そのうえで、皆さん一人一人の"復興の ために一番大事だと思ったこと"を教えていただきたいと思います。





夏災トより区民のだか変やしてしお

コミュティー(話し合いかできる場・機会をつくる。

日かけ合いでするながた な。モ火、小のオアス ** 全体トークでは半円状の車座になり、 参加者が一人ずつ自分の意見を発表した後、 フリートークを行いました。

名のない「中の再親



いったが後のおり、きまり、きまり、きまり、きまり、きままで、これで、

例。從書は強いなせば此野

言知的 中東縣如C en DIDIPOPPOPPON集小部分 :2 艾尔加西河流小发生在小野中的?

多楽していてというで、アベカのであるか、 答言の生まちので、アベルな計を使りでいましてから、2 大学できなけど、タベルが手がはいいまめませい。 同の様の大を必ず、とこれないのかれないしまってころのこ よりないないない。 車前準備・相互扶助

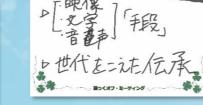
道路を広く

・人々が集まれる場所 (公園・広場)コミュニティ緑を増やす、静かな街 たタン)

ー・・、 除っくオフ・ミーティング 、・・・

日寺間をかけた就(念1)

・好三年とうは森々(対立も)
・社はなりかれが明備にファかる
・予め決める日がから



復興計画は

萬一的である必多い ない

BOOD-R-POOF

区の発展、災害対策の西立

区の交通監備を目給自足な多の課題、 突害対策。かいての問題点をを立走して 考えるが表からり、 フニュニティと地域の特色を生かした/対応した復興 アランを、

(熱性はカルチャーハアからファミリーでありまう以と" それなか見なるニーズ、ピゾランがある」とをたれずに) 最かはカフ・モーダング

. 災害に強いまからり(イッラ整備)道明局 ・年に投げ ・たな豊かはほう甚み、美味ラ食、歴史 ・活気ある商店住う

歌っくオフ・ミーティング

緑豊か、中かりな形立を アートで飾り 楽しく一体感のある 青空の見る合うとなるよう 今からピジョンを!!

災害が起きる前に新いまち次りの構想を区民みんなで共有あること

年齢をこえた
コミュニケーション
コミュニティ
・ 大変現できる
・ 施設・環境を守ること

「糸麦」
つながり、場、引き寄せ
(ソフト) (ハード) (大化)

・復興はみんなで力を合いて、電災前より名住で書くいるいないないないないでありたがあり、

・そのためいは強いたいが人事。それる意見を願うなから、その

リーダーシップの旅種を"少等」

リペースペクテフリ (見通し)

理想の未来(施設、ジューライル) も見据え、災害のあるないに 関わらず計画しておく。

報うくオフ・ミーティング 、 ・・・・ 日かくオフ・ミーティング 、 ・・・・





担当課からの感想

皆さん、本日はありがとうございました。 「事前復興まちづくり」という難しいテーマでしたが、活発な話し合いから、多くの意見をいただくことができて、本当に感謝しています。色々なご意見の中で特に印象に残ったのが「復興の過程では、人と人との繋がりが大事」というご意見です。本日のミーティン



グでも、人と人との繋がりの中で多くのアイデアが生み出されたと思います。被災後は、皆さん に色々な負担や心配が重なり、困難に直面する場面があるかもしれません。そのような時、人と 人との繋がりが、一人ではできないことも可能にする力を与えてくれると信じています。

本日いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。「事前復興まちづくり」の 取組は、まだ始まったばかりで、これからも皆さんとの意見交換の機会を設けてまいりますので、 ぜひまたご参加いただきたいと思います。また、区政全体では、この事業以外にも皆さんとの対 話の場を設けていますので、幅広い分野に対して、忌憚なく意見をいただければと思います。

区長の感想



グループワークでは、杉並の良さについて、みどりや水辺、歴史、街並みといった意見が数多く出ていました。地域の街並みにはそれぞれ特徴があり、そこに様々な人たちが住んでいる中で、多様な復興のあり方があって良い、そして事前復興について話すことは、実はまちづくりを話すことなのだと、今日、皆さんに気づかされました。そして平時から、コミュニティを強化しておくことの大切さもあらためて感じました。

被災時には余裕がなく、生活も混乱し、人々は精神的にも疲弊している。そうした中で、対話をすることは大変困

難です。だからこそ日頃から様々なレベルで、今日のような対話を通して、相手の立場に立った相互理解や、その上で課題解決を一緒に進めていく経験をするなど、災害時に備えたコミュニティづくりが必要だと思いました。

今日から杉並区は、区民と区、事業者の力を合わせて、みんなで燃えない、倒れないまちをつくっていきます。そして震災時には、事前復興まちづくり方針をもとに、皆さんの好きな杉並の良さを守りながら、さらに新しいまちをつくっていきたいと思います。

1000

令和7年9月20日開催 聴っくオフ・ミーティング報告書

<参加者> 区民 18 名、区長、都市整備部都市企画担当課長ほか

令和 7 年 10 月 編集 • 発行 総務部区政相談課 〒166 - 8570 杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号

電話 03-3312-2111